



授業はここまで進化...
タブレットを使って学習中!!

鏡石町立第一小学校でのタブレットを使った授業風景
(12月14日(火) 議会総務文教常任委員会で視察)

目次

第10回定例会	2～3ページ
審議の結果(定例会)	4ページ
臨時会・委員会活動	5ページ
審議の結果(臨時会)	6ページ
一般質問	7～13ページ
町民の声	14ページ

何でも言って!! みんなの願い・想い

町民の声

子供が生まれます。少子高齢化の中で、子育ての支援策をお願いします。



(成田地区の遊水地事業)
住宅・農地の補償等の説明を早期に求めます。



(成田地区の遊水地事業)
遊水地における高台移転の場所や時期など早期解決をしてほしい。



健康福祉センターの活用を十分に検討し、町民全員が活用できるようにしてください。



何をしてほしい
どんな「まち」にしてほしい

町民の皆さんが議会にしてほしいことを、議会だより紙面で紹介いたします。
多くの声をお待ちしています。

～ 原稿内容についてのお願い ～

- ① テーマを決めて、50文字以内でお願いします。
- ② 住所、氏名、年齢、電話番号を必ず明記してください。
- ③ 広報広聴常任委員会の委員が、原稿内容を詳しく聞き取りに訪問する場合があります。
- ④ 掲載が決まったときには、写真を掲載する場合があります。
- ⑤ 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容は、ご遠慮願います。



スマートフォン
はコチラ

「町民の声」提出先 鏡石町議会事務局 〒969-0492 鏡石町不時沼345 電話62-2110
☆郵送、持参のほかに、町ホームページからも投稿できます。 URL / www.town.kagamiishi.fukushima.jp/

発行責任者 議長 古川 文雄
委員 渡辺 定己
委員 菊地 喜洋
委員 橋本 喜一
委員 畑本 幸一
副委員長 小川 幸次
委員長 角田 真美
広報広聴常任委員会

町民皆様に新年のご挨拶を申し上げます。コロナ禍の中、二度目の新年を迎えましたが、未だにマスク生活が続いており、暮らしと経済も打撃を受けています。オミクロン株の急速な感染拡大が懸念されますが、一日も早く平穏な日常生活が戻ることを祈っています。
鏡石町は、本年8月に町制施行60周年を迎えます。「議会だより」も未来に向けて新しいものにチャレンジしたいと思っておりますので、お気づきの点がありましたらお気軽に声をかけてください。

編集後記

鏡石町第6次総合計画基本構想や
鏡石町健康福祉センター建設工事
請負契約など議決

議案など全10件審議

第10回鏡石町議会定例会は、12月9日（木）から15日（水）までの7日間の会期で開催されました。今回の定例会では、第6次総合計画の基本構想、健康福祉センター建設工事の請負契約のほか、新条例の制定1件、条例改正2件、令和3年度補正予算3件、意見書案1件、陳情1件の全10案件が審議され、陳情1件を除く9件が原案のとおり可決されました。また、一般質問は12月10日（金）に行われ、6名の議員が登壇して、多岐にわたる行政課題について、執行側と討論しました。

鏡石町第6次総合計画基本構想を議決

令和4年度から10年間のまちづくりの指針となる鏡石町第6次総合計画の基本構想案が上程され、全会一致で可決されました。第6次総合計画の基本構想では、まちの将来像を「未来へつなぐ、ずっと安心 みんな元気な進（ススム）かがみいし」と決定、2031年度の人口目標値を概ね11,500人と設定しています。なお、議会では、第6次総合計画調査特別委員会（畑幸一委員長）を設置して、令和3年3月から11月にかけて、計6回委員会を開催してきましたが、その

健康福祉センター建設工事請負契約を議決

町の福祉施策の拠点となる鏡石町健康福祉センター建設工事の請負契約が、全会一致で可決されました。契約の相手方は、株式会社渡辺建設、契約金額は13億3,650万円で、令和5年春の完成に向けて建設工事が始まりました。

特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例を制定

今定例会には、鏡石町特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例案が上程され、定例会の初日に、総務文教常任委員会（菊地洋委員長）に付託されました。12月14日に開催された委

子育て世帯への臨時特別給付金など増額補正

令和3年度一般会計補正予算では、2億6,587万円が増額され、一般会計の予算総額は、72億8,639万円となりました。

一般会計の主な補正予算

- ・子育て世帯への臨時特別給付金 1億1,000万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 4,191万円
- ・岡ノ内池2自然災害防止対策工事 5,700万円
- ・水田フル活用推進事業 1,090万円

米価下落の対策を求め
意見書案を議員提出

今定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による米価下落対策を国に求める意見書案が、議員提出議案として提出されました。



意見書案を説明する
大河原議員

条例の一部改正

正雄議員が、米の受給バランスを図るための十分な予算確保などの要望事項を説明し、全会一致で可決されました。

今定例会では、条例の一部改正2件が定例会初日に審議され、いずれも全会一致で可決されました。

「鏡石町税特別措置条例」の一部改正は、関係法令のある地域未来投資促進法の改正に伴うもので、地域経済牽引事業促進区域における課税免除規定の一部を改正するものです。

「鏡石町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」の一部改正は、保育所等の業務負担軽減のため、書類作成や保護者説明等について、紙媒体だけでなくデジタルデータやメールなどでも行うことができるように改正するものです。

【意見書の要望事項】

- 1 米政策に対する恒久的な制度の構築と十分な予算確保の措置
- 2 作付転換に支障を来さないよう、水田活用の直接支払交付金について、より十分な予算確保を図ること
- 3 収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）の早期支払いを行うとともに、生産者が収入保険を含めた各制度をさらに有効活用できるように十分な予算確保を図ること

福島県選出国會議員要望活動
阿武隈川流域の治水対策(遊水地整備事業)や米価下落対策を要望



吉野正芳 衆議院議員



玄葉光一郎 衆議院議員



増子輝彦 参議院議員

11月25日（木）に、古川議長と遠藤町長の2名で、福島県選出国會議員に対する要望活動を実施しました。東京都永田町の衆議院議員会館と参議院議員会館を訪問、国會議員9名（衆議院議員6名、参議院議員3名）に要望書を提出して、町の現状を説明しました。

【国會議員要望事項】

- 1 自治体財政支援について
 - 1-1 地方交付税の増額と早期交付について
 - 1-2 新型コロナウイルス感染症対策の適切な財政措置について
 - 1-3 社会資本整備総合交付金の財源確保と配分率の拡大について
 - 1-4 石綿セメント管の更新に係る生活基盤施設耐震化等交付金事業の要件緩和について
 - 1-5 公共施設等適正管理推進事業の期間延長について
- 2 一般国道4号の整備促進について
- 3 阿武隈川流域の治水対策について
- 4 土地改良事業における地元負担の軽減と早期事業の着手について
- 5 道路ストックの老朽化対策について
- 6 米価下落の対策を求める緊急要請について

第10回定例会 審議の結果

◎令和3年12月定例会提出議案 10件

(総合計画関係1件、条例制定1件、条例改正2件、補正予算3件、契約締結1件、意見書案1件、陳情1件)

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
議案第197号	鏡石町第6次総合計画基本構想について (令和4年度から10年間のまちづくりの指針となる第6次総合計画の基本構想)	可決
議案第198号	鏡石町特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例の制定について (施設を新設又は増設した事業者の固定資産税を免除する新条例)	可決
議案第199号	鏡石町税特別措置条例の一部を改正する条例の制定について (地域経済牽引事業促進区域における課税免除規定の改正)	可決
議案第200号	鏡石町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (保育所等において、書類作成や保護者説明等を電磁的記録により行う規定の追加)	可決
議案第201号	令和3年度鏡石町一般会計補正予算(第7号) (子育て世帯への臨時特別給付金など265,872千円の増額補正)	可決
議案第202号	令和3年度鏡石町介護保険特別会計補正予算(第2号) (介護予防サービス費など25,182千円の増額補正)	可決
議案第203号	令和3年度鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) (土地改良事業団体連合会特別賦課金など補正額のない予算組替)	可決
議案第204号	鏡石町健康福祉センター建設工事請負契約の締結について (地方自治法に基づく健康福祉センター建設工事1,336,500千円の請負契約の締結)	可決
発議第4号	米価下落の対策を求める意見書案について (国に対して、米価下落対策を要望する議員提出議案)	可決
陳情第13号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める件に関する陳情書 (国に対して、辺野古新基地建設中止などを求める陳情書) ※本案件は、総務文教常任委員会に付託されて審議。委員会では、「不採択とすべきもの」と決定し、本会議採決でも、「委員会決定のとおり不採択とする」ことに賛成多数となった。	不採択

第10回定例会 審議の結果(賛否が分かれたもの)

「○」賛成 「×」反対 「-」採決に加わらない。その他の議案は全会一致で可決した。

議案等番号	畑幸一	角田真美	橋本喜一	菊地洋	小林政次	渡辺定己	大河原正雄	今泉文克	円谷寛	古川文雄	審議結果
議案第201号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
陳情第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	不採択

※陳情第13号の採決は、不採択とすることに賛成多数

総務文教常任委員会の活動報告

第10回臨時会 人事委員会勧告に伴う 給与改定などを議決

議案など全10件審議

第10回鏡石町議会臨時会が、11月24日(水)に行われました。臨時会では、議会議員や町長などの3役、町職員等の期末手当引き下げ等の条例改正が4件、人件費関連の各会計補正予算5件のほかに、専決処分した報告1件が審議され、全て原案のとおり可決・承認されました。(審議の結果は6ページ)



第10回臨時会

一小的授業を視察

12月14日(火)に、総務文教常任委員会(菊地洋委員長)が開催され、タブレット(iPad)を使った第一小学校の授業を視察したほか、服部校長や小池教頭、町教育課の職員とタブレット授業のメリット、デメリットについて意見交換をしました。

委員会では、その他、新条例の制定や陳情案件について審議をしました。



一小での意見交換

所管事務調査を実施 (宮城県加美町ほか)

11月16日(火)から17日(水)の2日間、総務文教常任委員会の所管事務調査を実施しました。

初日に訪問した宮城県加美町では、陸上競技場の第3種公認に伴う整備状況などを調査して、翌日は、防災のまちづくりの観点から福島県双葉町の「東日本大震災・原子力災害伝承館」を視察しました。



宮城県加美町での調査

産業厚生常任委員会の活動報告

健康福祉センター 建設事業を調査

12月14日(火)に、産業厚生常任委員会(大河原正雄委員長)が開催され、鏡石町健康福祉センター建設事業について調査を実施しました。

委員は、担当課職員から健康福祉センター事業の概要と現在までの進捗状況の説明を受け、質疑を行った後、建設予定地を視察しました。

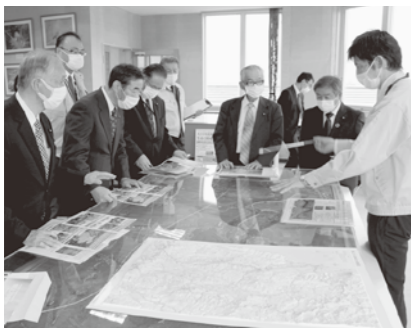


建設予定地を視察

所管事務調査を実施 (山形県村山市ほか)

11月15日(月)から16日(火)の2日間、産業厚生常任委員会の所管事務調査を実施しました。

初日は、山形県村山市の「大久保遊水地」について調査を行い、今後の遊水地事業の参考としました。2日目に訪問した山形県寒河江市では、ブランド米「つや姫」の生産者団体と意見交換をしました。



山形県村山市での調査

一般質問

一般質問

は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。8ページから、一般質問の要旨を掲載しましたのでご覧ください。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
8	小林 政次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 笠石区北町の道路改修について ○ 久来石・行方・蓮池西線の道路改良事業について ○ 福島県沖を震源とする地震災害復旧工事について ○ 農村婦人の家の復旧等の見直しについて ○ 駅に降りてみたくなる事業について ○ 田んぼアートモニュメントの設置について ○ 健康福祉センター建設事業について ○ 阿武隈川上流遊水地群の整備事業について ○ 新年度予算について
9	渡辺 定己	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町長の政治姿勢について ○ 道路行政について
10	今泉 文克	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震による空地と県中都市計画見直しについて ○ 遠藤町長3期12年の街づくり総括について
11	畑 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創生戦略「まち」「ひと」「しごと」に係る実践と実現の成長戦略について ○ コロナ禍の教育現場に係る児童生徒の動向について ○ 自転車の安全対策と利用促進について ○ ここがすばらしい町の魅力について
12	角田 真美	<ul style="list-style-type: none"> ○ 阿武隈川災害と福島県沖地震災害の復旧進捗状況と今後のロードマップについて ○ 町道のインフラ整備対策について ○ ヤングケアラーの実態調査と対応策について
13	円谷 寛	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成田地区遊水地計画への町対応について ○ 県道成田・鏡田線の視距改良工事について ○ 温水プール「すいすい」の改善と利用者増加策について ○ 町長の政治姿勢について

議会傍聴へお越し下さい

次回の定例会は、3月となります。あなたの目と耳で確かめ、町政に参加しませんか。傍聴を希望される方は、役場庁舎2階の議会事務局事務室までお越し下さい。住所と氏名を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

六議員が町政を問う

第10回臨時会 審議の結果

◎令和3年11月24日開催の臨時会提出議案 10件
(報告1件、条例改正4件、補正予算5件)

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
報告第47号	専決処分した事件の承認について(令和3年度鏡石町一般会計補正予算(第5号)) (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業補助金など22,638千円の増額補正)	承認
議案第188号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(期末手当の支給割合引き下げ)	可決
議案第189号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について(期末手当の支給割合引き下げ)	可決
議案第190号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(期末手当の支給割合引き下げ)	可決
議案第191号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(期末手当の支給割合引き下げ)	可決
議案第192号	令和3年度鏡石町一般会計補正予算(第6号) (職員の給与改定など736千円の増額補正)	可決
議案第193号	令和3年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号) (職員の給与改定など780千円の減額補正)	可決
議案第194号	令和3年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) (職員の給与改定など3,203千円の減額補正)	可決
議案第195号	令和3年度鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) (職員の給与改定など53千円の減額補正)	可決
議案第196号	令和3年度鏡石町上水道事業会計補正予算(第2号) (職員の給与改定など資本的支出で1,333千円の減額補正)	可決

第10回臨時会 審議の結果(賛否が分かれたもの)

「○」賛成 「×」反対 「-」採決に加わらない。報告第47号は全会一致で承認した。

議案等番号	畑 幸一	角田 真美	橋本 喜一	菊地 洋	小林 政次	渡辺 定己	大河原 正雄	今泉 文克	円谷 寛	古川 文雄	審議結果
議案第188号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
議案第189号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
議案第190号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
議案第191号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
議案第192号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
議案第193号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
議案第194号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
議案第195号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決
議案第196号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決



渡辺定己議員

○町長の政治姿勢について

○道路行政について



遠藤町長が始めたたんぼアート

復旧・復興事業では、主な事業として一小新校舎の建築、児童ふれあい交流館の開設、新浄水場の建設、町内の公園の遊具整備、鳥見山公園の多目的広場、テニスコートの人工芝化等がある。

町長 就任から9か月後に起きた東日本大震災の復旧を、いかに早く進めるかが大きな課題であったため、震災対応に全力で取り組んだ。その中で、解決できた課題としては、震災翌日の家屋被害調査（目視）、ブロック塀の撤去、放射能調査（ヨウ素、セシウム）の実施、被災証明書発行体制の確立、震災1年後の放射線マップの完成、除染土の仮置き場（仁井田地内）の確保、道路側溝の堆積物撤去等がある。

その他では、健康福祉センターの建設決定、駅東第一土地区画整理事業の進展、定住促進対策、たんぼアートの進化、かんかんてらすのオープン等があげられる。

町長 復旧・復興事業では、主な事業として一小新校舎の建築、児童ふれあい交流館の開設、新浄水場の建設、町内の公園の遊具整備、鳥見山公園の多目的広場、テニスコートの人工芝化等がある。

町を進化させるといふことは、常に改善をしていくことである。新たな視点で進化、改善を進めることが大切であるため、4期目の出馬は考えていない。また、後継者についても考えていない。

町長 町を進化させるといふことは、常に改善をしていくことである。新たな視点で進化、改善を進めることが大切であるため、4期目の出馬は考えていない。また、後継者についても考えていない。

須賀川市の地権者から未だ合意が得られていない。今後は、須賀川市と連携しながら、地権者交渉を踏まえ、ルート選定の検討を含めて慎重に進めていく。

高久田一貫線から東部環状線への接続の現状は。

一般質問

一般質問

- 笠石区北町の道路改修について
- 久来石・行方・蓮池西線の道路改良事業について
- 福島県沖を震源とする地震災害復旧工事について
- 農村婦人の家の復旧等の見直しについて

- 駅に降りてみたくなる事業について
- たんぼアートモニュメントの設置について
- 健康福祉センター建設事業について
- 阿武隈川上流遊水地群の整備事業について



小林政次議員

道路行政について

笠石区北町のクスリのアオキ東側の道路を早急に改修すべきでは。

都市建設課長

近隣住民が徒歩で通行する道路で、住民からの要望もあるため、今年度の予算状況を見ながら施工する方向で検討中である。

質問

久来石・行方・蓮池西線（笠石南町地内）の道路改良事業は、なぜ中飛びで工事が進められているのか。また今年度の工事内容は。

都市建設課長

北側からの延伸工事では、計画高と現道の高さに段差ができて、通行に支障をきたす恐れがあるため南側からも施工を行った。なお、今年度は、前年度施工区間の70mについて、改良舗装工事を行う。

福島県沖地震の災害復旧工事について

災害復旧工事は、どこまで進んでいるのか。

都市建設課長

国の査定を受けた町道の工事は、7路線全て10月末で完了した。梨池の災害復旧工事は、1月中の完成を目指して施工中である。

質問

農村婦人の家の復旧は、いつになるのか。また今後どのように対処するのか。

産業課長

農村婦人の家は、福島県沖地震で準半壊の判定を受け、全面改修には2千万円程度の予算が必要であるため解体を考えている。今後は、転作や6次産業化施設の設定等、集会所の機能も含めて検討する。

駅に降りてみたくなる事について

駅東口整備事業の実施計画委託の完了時期と駐車場の供用開始時期は。

質問

今年度は、ロータリー及び駐車場の測量設計を業務委託しており、来年3月末の工期である。駅東口の駐車場については、当面、臨時的な利用のみとし、正式な供用開始時期は、現時点で未定である。

田んぼアートモニュメントの設置について

質問

石像のモニュメントで、一工夫は考えているか。

産業課長

町内2カ所に設置予定のモニュメントについては、周りに人工芝を張り、更に夜間にライトが点灯する計画である。

健康福祉センター建設事業について

健康福祉センター建設事業の進捗状況は。

質問

健康福祉センター建設事業は、11月に入札を行い、本定例会で、工事請負契約の議案を提出している。施設の開館は、令和5年5月を目指している。

阿武隈川上流遊水地群の整備について

質問

用地調査はどこまで進んでいるのか。

都市建設課長

国の用地調査については、河原地区等の農地を中心に令和3年度の予定で進んでいる。旧宿屋敷を中心とした宅地調査は、令和4年度の実施と聞いている。また、補償額の提示や契約交渉は、次年度以降になるようである。

町長の政治姿勢について

町長 就任から11年半経過したが、解決できた課題は。

質問

町長

就任から9か月後に起きた東日本大震災の復旧を、いかに早く進めるかが大きな課題であったため、震災対応に全力で取り組んだ。その中で、解決できた課題としては、震災翌日の家屋被害調査（目視）、ブロック塀の撤去、放射能調査（ヨウ素、セシウム）の実施、被災証明書発行体制の確立、震災1年後の放射線マップの完成、除染土の仮置き場（仁井田地内）の確保、道路側溝の堆積物撤去等がある。

質問

公約を達成できた案件は。

町長

まずは、財政の健全化である。令和2年度の実質公債比率は8.1%で、就任以前より12.6%改善した。令和2年度末の基金合計は32億円、その内、自由に使える財政調整基金は、11.7億円に増加させた。財政的な面では、収納グループを設置して、その効果もあがっている。また、日曜窓口や消費生活相談窓口も設置した。

質問

残る課題への考えと任期中に抱えた嫌悪感。

町長

残る課題では、駅東地区の区画整理事業で、新たな工業団地を検討するなど、準工業地域の第5工区をどうするかをあげられる。嫌悪感については、職員の不祥事があったことや東日本大震災時の対応と平時の対応の違い、臨機応変に対応できない事務処理への苛立ち等である。

質問

蒲の沢交差点の渋滞解消で、右折レーン設置の考えは。また、時差式信号への改良の考えは。

都市建設課長

久来石交差点までの国道4号の4車線化で、今後、交通の分散化が期待される。全線供用後の状況により、右折レーンの調査をしたい。

総務課長

時差式信号機への改良については、公安委員会から、丁字路交差点では可能だが、十字路交差点では、できないとの回答があった。

質問

高久田一貫線から東部環状線への接続の現状は。

都市建設課長

須賀川市の地権者から未だ合意が得られていない。今後は、須賀川市と連携しながら、地権者交渉を踏まえ、ルート選定の検討を含めて慎重に進めていく。



畑 幸一議員

- 創生戦略「まち」「ひと」「しごと」に係る実践と実現の成長戦略について
- コロナ禍の教育現場に係る児童生徒の動向について
- 自転車の安全対策と利用促進について
- ここがすばらしい町の魅力について

一般質問

一般質問



- 地震による空地と県中都市計画見直しについて
- 遠藤町長3期12年の街づくり総括について



今泉文克議員

地震による空地と県中都市計画見直しについて

質問 福島県沖地震による家屋被害は把握しているのか。

総務課長

令和3年2月に発生した福島県沖地震で被害のあった家屋について、町では、所有者の申請により調査員が国の基準に従って被害の程度を判定して、り災証明書を交付している。なお、11月30日までの発行件数は、829件である。

質問

東日本大震災以降、多くの空地が発生しているが、町は把握しているのか。

総務課長

町における空地については、現状調査をしていない。行政区や一般町民から空地の雑草等の相談が寄せられた場合は、所有者に対して、現況写真を添付して、文書による適正管理をお願いしている。

ている。

町長

空地や空家対策は、人口減少の状況から容易ではないが、今後しっかりと進める必要がある。

質問

町議会は、市街化調整区域の立地基準の緩和を県に要請している。町は、均衡ある街づくりに向けて、この要請を実現する考えはあるのか。

町長

県中都市計画は、県が決定権者であり、都市計画の基本方針は、県中都市計画マスタープランに位置づけられている。これまでの町づくりでは、街路、公園、区画整理事業等の整備を図ることで、無秩序な開発を抑制し、鏡石駅と国道4号を中心とした良好な市街地を形成してきた。ただし、市街化調整区域の土地利用の規制については、開発許可制度の中で、

大変厳しい立地基準となっていることから、町でも、議会と同様に、県に対して開発許可制度の緩和を要望している。

質問 「復旧」「対策」「完成」と取り組んできた町の大事業（駅東開発、浄水場建設、健康福祉センター建設等）は満足な結果であるか。

町長

先ほど、130点以上という自己評価をつけたが、満足かどうかは、一概に言えない。満足させることができるかどうかは、職員の手意にある。町民にとって、どうあるべきかを常に考えて、職員が取り組むことで、その満足度が増すと考えている。

質問

立候補時の公約の達成度は何点か。

町長

1期から3期まで、公約を頭におきながら復興・復旧の事業を進めてきたが、公約の達成度は、町民の皆さんが評価することであると思う。

自転車の安全対策と利用促進について

質問 中学生の自転車通学路の安全対策は。

教育長

交通事故防止には、常に注意を払っている。今年10月には、警察署等の関係機関と通学路の合同点検を実施して、危険箇所の修繕等を要望している。

ここがすばらしい町の魅力について

質問 自然環境や観光で一番魅力のあるアピールポイント。

町長

鳥見山公園、ふれあいの森公園、岩瀬牧場、田んぼアート等である。来年7月には、本町で全国田んぼアートサミットが開催されるので、町の魅力をさらにPRしたい。

コロナ禍の児童生徒の動向について

質問

児童生徒の生活の変化による影響は。

教育長

コロナ禍により、石けんでの手洗い、アルコール消毒、マスク着用、毎日の検温等が学校でも習慣化されている。

質問

コロナ禍での生活困窮者や生活保護世帯の実態は。

福祉こども課長

生活支援のための町社会福祉協議会の特例貸付利用者は、月平均10人ほどである。生活保護受給者数は、60世帯73人であり、コロナ禍以前と大きく変わっていない。

創生戦略の実践と実現について

質問

町の特性を生かした取り組みは何かあるのか。

総務課長

町では、平成28年3月に、地方創生を目的とした「鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「通勤に便利で住むにも快適、子育てしやすい環境を備えた定住の町」を将来像として、各種事業に取り組んでいる。主な事業は、「来てかがみいし移住定住促進事業」、「婚活支援事業」、「結婚新生活支援事業」、「妊婦健診の充実」、「新生児への商品券給付」等である。

質問

加速する少子化、出生数低下の要因と問題点は。

総務課長

少子化の理由としては、晩婚化や未婚者の増加による出生率低下、若年層の経



丸谷 寛議員

- 成田地区遊水地計画への町対応について
- 県道成田・鏡田線の視距完了工事について
- 町民プール「すいすい」の改善と利用者増加策について
- 町長の政治姿勢について

質問 耕作面積を縮小した農家のため、駅東地区に道の駅を建設し、農産物販売で収入を確保してはどうか。

課による協議検討を行うことを指示している。

町長 高台移転は、基本的には集団移転を考えており、移

質問 移転用地の確保を町が行うことで、税制や開発も円滑に進行する。町が主体的に取り組むべきでは。

町長 地区住民の皆さんが、一緒に住むことができる土地が大事である。しっかりと地域の皆さんと話をし、検討していきたい。

あった。町では、引き続き県に強く要望していく。

都市建設課長 今年度は、用地買収済みの区間について、岡ノ内幼稚園側から道路改良舗装工事を発注した。残りの工事発注は、地権者との合意にもよるが、次年度以降の予定である。

質問 鏡田111号線の道路計画の進捗状況は。

都市建設課長 当該箇所は、急カーブで信号までの距離が短く、大変危険な道路形状である。以前より、県に対して、視距改良を要望してきたが、カラー舗装や注意喚起看板設置に留まっている。県からは、優先度の高い箇所から事業を進めており、改良工事は当面難しい状況であるため、今後も適切な維持管理に努めるとの回答があった。

町長 「すいすい」の給湯設備は、減圧により低温で沸騰する蒸気が熱源であり、熱交換率が高く、安全性と耐久性に優れている。平成29年度に設備を更新している。次回の更新では、新たな技術も含めて検討したい。

質問 管理職によるパワハラはないのか。

総務課長 全職員を対象にハラスメント研修を実施しており、組織全体でハラスメント防止に取り組んでいる。管理職のパワハラについては、今のところ話は聞いていない。

転先は、地元と一緒に探していきたい。そのため、町が主体的に取り組むことが最善である。なお、高台移転のための用地調査費は、新年度予算に計上したいと考えている。

質問 灯油を大量使用しているが、SDGsの観点から改善すべきでは。

質問 優良な農地の100町歩が減少する。町としてどう取り組むのか。町長の決意は。

産業課長 農業を取り巻く厳しい環境は成田地区に限らない。儲かる農業の実現に向けて総合的に取り組んでいく。なお、農産物の販売は、まちの駅「かんかんてらす」に集中していきたい。

町長 阿武隈川の水害から成田地区を守るためには、高台移転が必要であると訴えてきた。そして、地元の理解を得て協議会が設立された。役場内には、今年4月に治水対策室を設置し、その後、国から全面買収方式が示されたことから、7月には、遊水地営農対策室を設置した。10月には、関係課と本町、矢吹町、玉川村の現地確認を行い、高台移転については、2週間ごとに関係課による協議検討を行うことを指示している。

質問 阿武隈川の緊急時の警戒警報や避難情報の伝達は。

総務課長 阿武隈川の警戒情報は、福島気象台の気象情報のほか、玉城橋の水位計の情報



角田真美議員

- 阿武隈川災害と福島県沖地震災害の復旧進捗状況と今後のロードマップについて
- 町道のインフラ整備対策について
- ヤングケアラーの実態調査と対応策について

阿武隈川災害と福島県沖地震災害の復旧進捗状況と今後について

質問 国の遊水地計画に関する進捗状況は。

都市建設課長

現在、国では遊水地の計画策定のため、現地での測量調査が実施されている。この測量結果を踏まえ、遊水地の範囲や掘削の深さ、周囲堤の高さ等が再度提案される。また、国と町職員、住民の皆様との意見交換会も実施された。今後は、国において遊水地概略設計を作成後、早ければ2月頃に再び、地区説明会が実施される予定である。

質問

阿武隈川の緊急時の警戒警報や避難情報の伝達は。

総務課長

阿武隈川の警戒情報は、福島気象台の気象情報のほか、玉城橋の水位計の情報

を判断して、防災行政無線、エリアメール、LINE等を使用して情報伝達ができる体制を整備している。

質問

岡ノ内池2の法面と周辺地割れ被害の応急工事の進捗状況は。

都市建設課長

国と意見交換して工法を検討し、測量設計業務を9月末工期で発注した。その間、雨水の浸透による地滑りを懸念して、5、6月にかけて応急工事を行った。今後は、池の法面上部まで埋立てする計画で、災害対策工事を実施したい。

町道のインフラ整備対策について

質問

道路区画線（中央線、外側線等）の整備状況は。

都市建設課長

道路区画線は、経年で消耗した箇所や行政区、住民

から要望のあった箇所について、毎年継続して施工している。

質問

鏡田111号線の道路計画の進捗状況は。

都市建設課長

今年度は、用地買収済みの区間について、岡ノ内幼稚園側から道路改良舗装工事を発注した。残りの工事発注は、地権者との合意にもよるが、次年度以降の予定である。

質問

県道下松本線の迂回路開通に関連する町道の拡幅予定は。

都市建設課長

迂回路から旧職業訓練校に抜ける道路の約170m区間については、車道幅が約3、4mであり対面通行が困難である。そのため、次年度以降に道路拡幅の概略設計を実施して、地元合意を進めていく。

旧滝田医院脇から県道下松本線までの区間の町道の整備予定は。

都市建設課長

この道路は、復員が2、6m、舗装と砂利が混在し、一部私道となっている袋小路である。行政区から県道までの整備を要望されているが、優先すべき路線整備を進めているため、この道路の整備計画はない。

ヤングケアラーの実態調査と対応策について

質問

ヤングケアラーからの相談対応の方法は。

福祉こども課長

教員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の方々が、直接又は電話等で相談対応を行っている。SNSやオンラインでの相談対応については、教育委員会等と連携しながら調査研究を進めていく。

町民プール「すいすい」の改善と利用者増加策について

質問

灯油を大量使用しているが、SDGsの観点から改善すべきでは。

教育課長

「すいすい」の給湯設備は、減圧により低温で沸騰する蒸気が熱源であり、熱交換率が高く、安全性と耐久性に優れている。平成29年度に設備を更新している。次回の更新では、新たな技術も含めて検討したい。

町長の政治姿勢について

質問

管理職によるパワハラはないのか。

総務課長

全職員を対象にハラスメント研修を実施しており、組織全体でハラスメント防止に取り組んでいる。管理職のパワハラについては、今のところ話は聞いていない。